

平成 23 年 3 月 11 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」の「毎月分配型」  
2011年3月10日(第15回)決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各コースにおける2011年3月10日(第15回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

**第15期分配金** (1万口当たり、税引前)

・毎月分配型

| 円コース | 豪ドルコース | ブラジルリアルコース | 南アフリカランドコース |
|------|--------|------------|-------------|
| 50 円 | 85 円   | 125 円      | 95 円        |

## 第15期の運用経過

当月のエマージング債券市場は、政治的リスクやインフレ圧力の高まりにもかかわらず、上昇しました(米ドルベース、以下同じ)。前月来のエジプトの民主化要求デモはムバラク大統領の辞任により小康状態となりましたが、騒乱は北アフリカ・中東の各地に拡大し、原油輸出国のリビアで政府勢力との大規模な衝突に至ったことを受け、原油価格が2年半ぶりの水準に上昇しました。資源輸出国の債券の上昇などから、ドル建てエマージング債券市場(JP モルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド、以下「ドル建て債」)はわずかながら上昇しましたが、米国債に対するスプレッド(利回り格差)は小幅に拡大しました。

国別の主要な動きでは、エジプトの債券は、ドル建て債が反発した一方で、現地通貨建て債は大幅に下落しました。一方、信用格付業者のフィッチ・レーティングスによる信用格付け見直し引き上げで投資適格への昇格に一步近づいたインドネシアや、原油高の恩恵が期待されたロシアでは、現地通貨建て債が大きく上昇し、ドル建て債も堅調な推移となりました。

ポートフォリオはドル建てでプラスの収益率となりました。イラクやアルゼンチン、トルコのドル建て国債などの保有がマイナスに作用したものの、ウルグアイやインドネシアの現地通貨建て国債、ハンガリーやロシアのドル建て国債などの保有などがプラス要因となりました。

当月の投資行動では、ドル建て、現地通貨建て双方のハンガリー国債に加え、メキシコや南アフリカの現地通貨建て国債、ブラジルのドル建て国債の追加購入などを行った一方で、トルコやロシア、アルゼンチン、フィリピンのドル建て国債の一部売却などを実施しました。

月末時点のポートフォリオは、国別では、前月と変わらずトルコやアルゼンチン、インドネシアやロシアなどの比率が上位となりました。

北アフリカ・中東情勢に起因して高利回り債券に要求されるリスク・プレミアムは、当面、高止まりが予想されますが、現在のポートフォリオにおける投資対象は広く分散されており、原油価格の上昇についても、関連銘柄の上昇により影響は軽減されると見込んでおります。インフレの昂進は注視すべき材料ではありますが、多くの新興国で当局が機敏な金融引締めに動いているうえ、歳出の抑制など財政健全化に向けた取り組みが見られることなどから、過度に警戒すべきではないと思われま。金融・財政両面の引締め政策は、当面の経済成長にはマイナス材料といえますが、債券市場のファンダメンタルズの改善にとって不可欠のもので、多くの新興国は、先進国に比べ、引締めを行えるだけの高い潜在成長率を有しているとも考えられます。そうした状況下、高利回りを求める資金は引き続きエマージング債券市場に流入するものと予想しております。

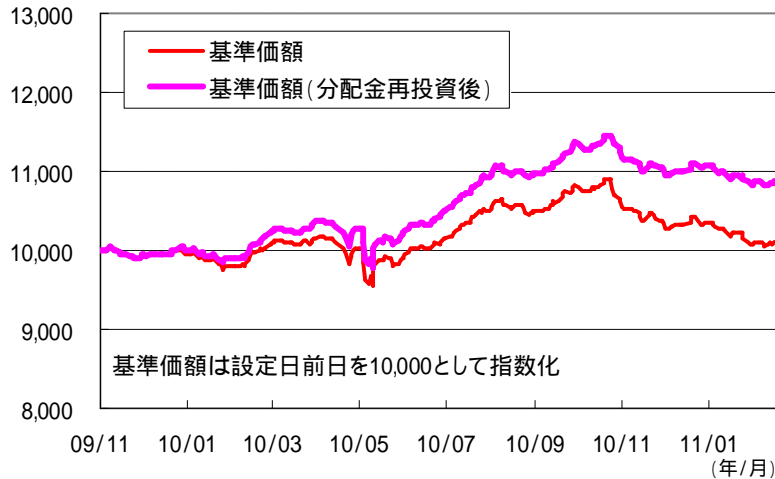
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍円建外国投資信託)は2011年2月末現在でエマージング債券の組入数は123銘柄、債券の組入比率は96.6%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

## 基準価額の推移 (2009年11月17日(設定日)~2011年3月10日)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

### 円コース(毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

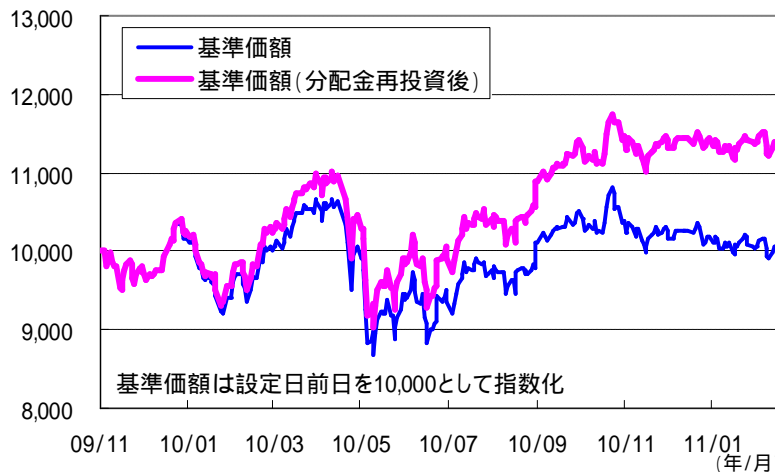
|      | 決算日        | 分配金   |
|------|------------|-------|
| 第11期 | 2010/11/10 | 100 円 |
| 第12期 | 2010/12/10 | 50 円  |
| 第13期 | 2011/1/11  | 50 円  |
| 第14期 | 2011/2/10  | 50 円  |
| 第15期 | 2011/3/10  | 50 円  |
| 設定来  |            | 800 円 |

1万口当たり、税引前

2011/3/10

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 10,105 円 |
| 純資産総額 | 50 億円    |

### 豪ドルコース(毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

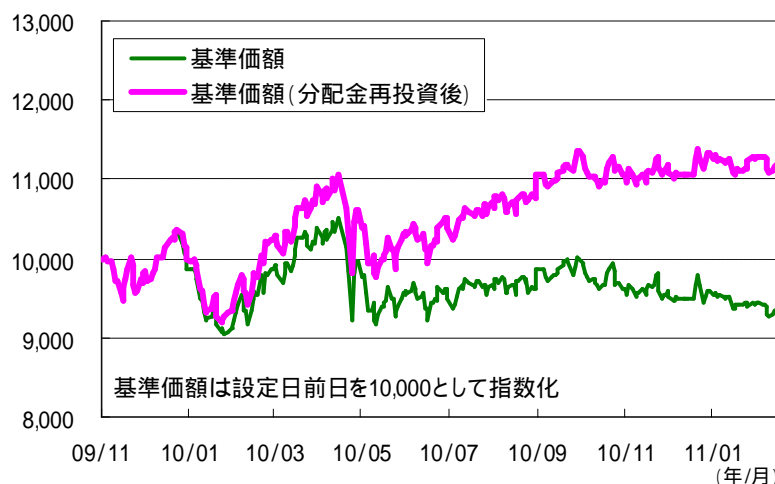
|      | 決算日        | 分配金     |
|------|------------|---------|
| 第11期 | 2010/11/10 | 170 円   |
| 第12期 | 2010/12/10 | 85 円    |
| 第13期 | 2011/1/11  | 85 円    |
| 第14期 | 2011/2/10  | 85 円    |
| 第15期 | 2011/3/10  | 85 円    |
| 設定来  |            | 1,315 円 |

1万口当たり、税引前

2011/3/10

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 10,068 円 |
| 純資産総額 | 118 億円   |

### ブラジルリアルコース(毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

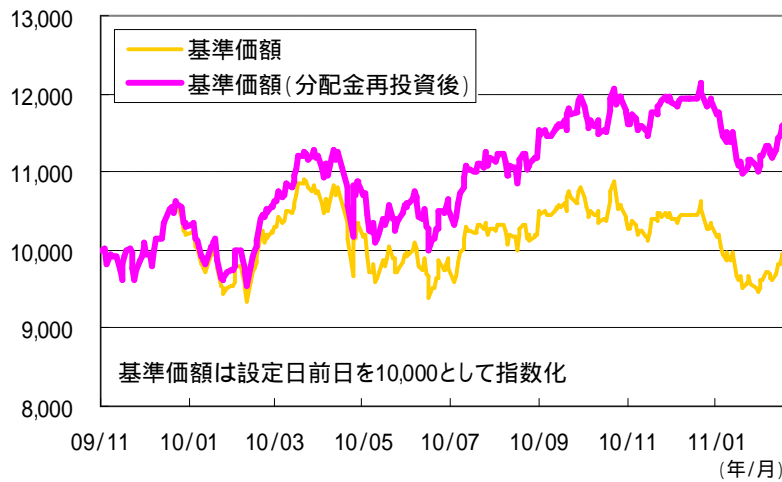
|      | 決算日        | 分配金     |
|------|------------|---------|
| 第11期 | 2010/11/10 | 125 円   |
| 第12期 | 2010/12/10 | 125 円   |
| 第13期 | 2011/1/11  | 125 円   |
| 第14期 | 2011/2/10  | 125 円   |
| 第15期 | 2011/3/10  | 125 円   |
| 設定来  |            | 1,845 円 |

1万口当たり、税引前

2011/3/10

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 9,406 円  |
| 純資産総額 | 1,648 億円 |

## 南アフリカランドコース(毎月分配型)



### [直近5期の分配実績]

|      | 決算日        | 分配金     |
|------|------------|---------|
| 第11期 | 2010/11/10 | 210 円   |
| 第12期 | 2010/12/10 | 105 円   |
| 第13期 | 2011/1/11  | 95 円    |
| 第14期 | 2011/2/10  | 95 円    |
| 第15期 | 2011/3/10  | 95 円    |
| 設定来  |            | 1,650 円 |

1万口当たり、税引前

2011/3/10

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 9,993 円 |
| 純資産総額 | 13 億円   |

## 分配方針(毎月分配型)

毎月10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益を中心に安定分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず投資信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

## 販売会社の名称等

| 販売会社     |          | 登録番号            | 日本証券業協会 | (社)日本証券投資顧問業協会 | (社)金融先物取引業協会 |
|----------|----------|-----------------|---------|----------------|--------------|
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 |         |                |              |

加入協会に 印を記載しています。

本資料は投資者に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

### 当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資家に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

#### 当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

<各ファンド(マネープールファンド(年2回決算型)を除く)>

「金利変動リスク」「信用リスク(クレジットリスク)」「カントリーリスク」「為替変動リスク」

<マネープールファンド(年2回決算型)>

「金利変動リスク」「信用リスク」

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

### ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時にご負担いただく費用

購入時手数料・・・購入価額に対して 3.15%(税抜 3.00%)

(マネープールファンドのご購入はスイッチングによる場合のみとします。)

スイッチング時にご負担いただく費用

スイッチング手数料・・・購入価額に対して 1.575%(税抜 1.50%)

(マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)

換金(スイッチングのための換金を含む)時にご負担いただく費用

信託財産留保額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.3%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)

ご換金手数料・・・ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬): 毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額

各ファンド(マネープールファンドを除く)・・・年 0.924%(税抜 0.88%)

実質的にご負担いただく信託報酬率・・・年 1.674%程度(税抜 1.63%程度)

(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)

マネープールファンド・・・年 0.5775%(税抜 0.55%)以内

その他の費用・手数料:

【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額

各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.0084%(税抜 0.008%)

マネープールファンド: 年 0.00525%(税抜 0.005%)

【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。